

# 道路案内標識における英語表記の改善について

## 背景

改正標識令\*が施行（平成26年4月1日）

- 案内標識には、原則として**英語表示を併用**
- 固有名詞の部分の表音をローマ字により表示

「道路分科会」の取組方針を策定（平成26年11月26日）

- 英語表記の改善を実施**
- 必要に応じて、ピクトグラムや路線番号を表示
- 表示内容の簡略化などにより視認性を確保



\* 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部を改正する命令

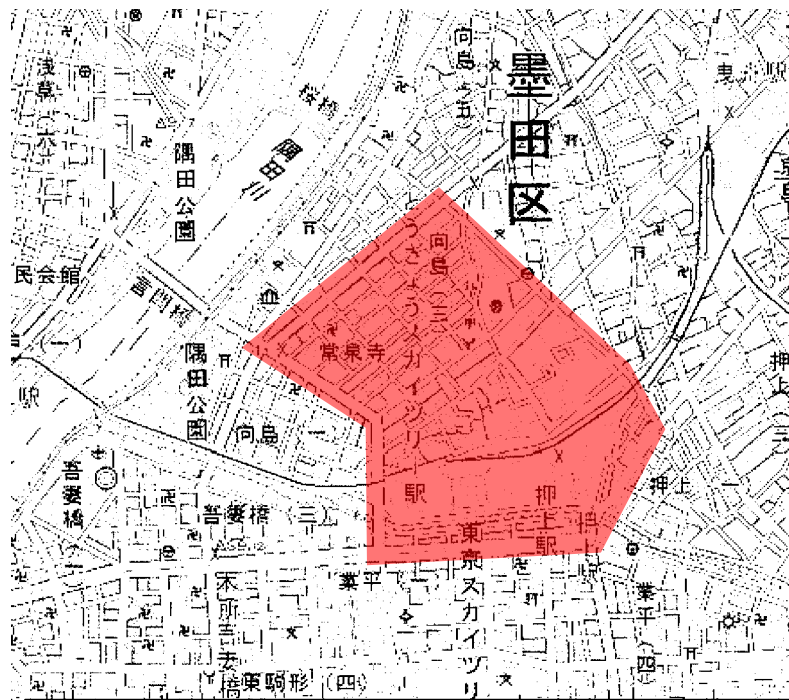
## 取組状況

戦略拠点において、国、都及び区が連携し取組を実施（済）

- 【取組内容】ローマ字表記を英語表記に変更等
- 【対象地区】押上・業平橋、銀座（訪日外国人旅行者の受入環境整備事業の戦略拠点）
- 【対象標識】方面及び方向、主要地点、著名地点、道路の通称名

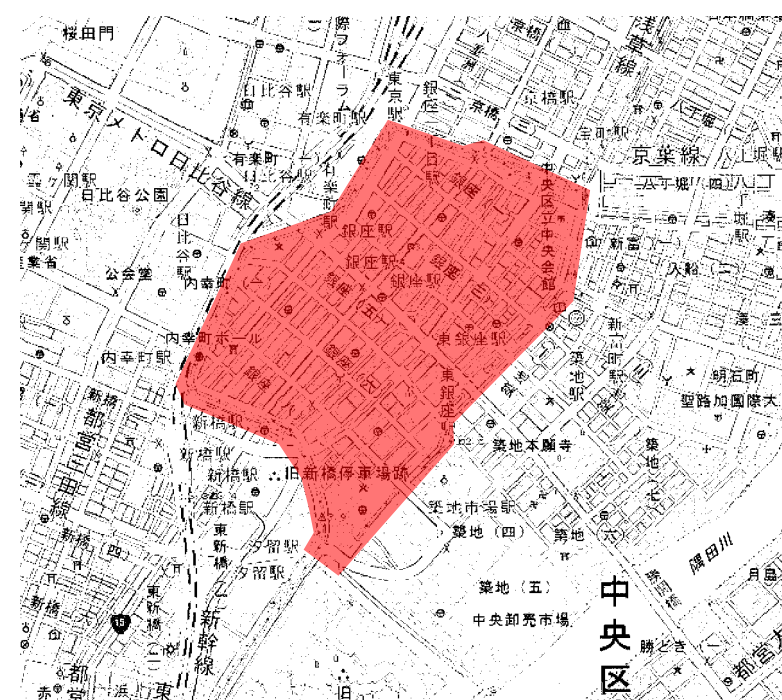
## 英語表記改善エリア

○押上・業平橋



この地図は、国土地理院の電子地形図（タイル）に対象範囲を追記し掲載したものである。

○銀座



この地図は、国土地理院の電子地形図（タイル）に対象範囲を追記し掲載したものである。

## 改善対象標識と主な改善事例

### 方面及び方向



### 主要地点



### 著名地点

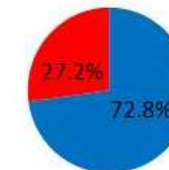


### 道路の通称名

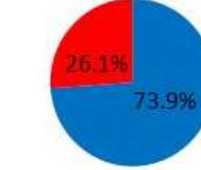


## 改善効果

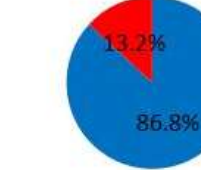
Q.改善後の標識は、改善前と比べて分かりやすくなったか？



Q.改善後の標識の意味が分かるか？



Q.改善後の標識は道案内の役に立つか？



※対象エリアにおいて実施した外国人アンケート結果より（国土交通省東京国道事務所実施）

## 今後の取組

- 今年度、戦略拠点「秋葉原」「蒲田」において、英語表記改善を実施
- 東京2020大会に向け、都道にある全道路標識の英語表記改善を実施